

平成28年度 事業報告書

平成29年6月

社会福祉法人すずらんの会

社会福祉法人すずらんの会 平成28年度事業報告

法人の理念

[基本理念]

私達の願いは、地域社会の中で誰もがバリアフリーな暮らしを営むことが出来るようになることです。障害児者福祉の一翼を担う私達は、人の持つ無限の能力を信じ、それが十分に発揮されるような環境作りを目指します。

[経営理念]

1. 私達は地域の一員となり、地域と手を携えて福祉の向上に貢献します。
2. 私達は広い視野に立ち、法人活動を通じて有用な福祉サービスを提供することにより、障害のある人たちの社会自立を応援します。
3. 私達は常に開かれた法人経営を目指し、全てに公正かつ適切であることを誓います。

I. 事業目的

社会福祉法人すずらんの会は、利用者の夢や希望を大切にし、個人の尊厳を守り、地域社会でその人らしい生活が営め、社会の一員としてその役割を担うことが出来るよう、利用者が必要とするサービスを総合的に提供する。

II. 実施事業

1. 第二種社会福祉事業

(1) 障害福祉サービス事業(障害者総合支援法)

- | | | | |
|----------------------|-----------|-------------|-------------|
| ①ワークショップ・フレンド・就労移行支援 | [定員 26名] | ・平成25年 4月1日 | |
| ・自立訓練(生活訓練) | [定員 14名] | ・平成25年 4月1日 | |
| ②ワークショップ・SUN | ・就労継続支援B型 | [定員 20名] | ・平成28年 4月1日 |
| ③ワークショップ・SUN横山 | ・就労継続支援B型 | [定員 20名] | ・平成25年 3月1日 |
| ④グリーンハウス | ・生活介護 | [定員 20名] | ・平成26年 4月1日 |
| | ・就労継続支援B型 | [定員 40名] | ・平成23年 4月1日 |
| ⑤ワークセンターやまと | ・就労移行支援 | [定員 6名] | ・平成26年 4月1日 |
| | ・就労継続支援B型 | [定員 14名] | ・平成23年 4月1日 |
| ⑥すずらんの家 | ・就労継続支援B型 | [定員 20名] | ・平成24年 4月1日 |
| ⑦タートル | ・生活介護 | [定員 20名] | ・平成27年 4月1日 |

Ⅲ. 活動状況

1. 支援サービス委員会

[活 動 状 況] 1 / 2

①リスクマネジメント委員会

- ・今年度に発覚の不祥事への対応と、再発防止対策委員会より示された再発防止対策の一つとして、外部専門家へ 会計監査を委託（継続中）
- ・社福改革の動向に関して、定款変更、理事会・評議員会及び評議員会選任・解任委員会等のあり方を把握し、適切な対応を確認
- ・中期計画の取組の内、フルト[®]移転計画については移転必要時期が遅れ（市道路計画）のため、対応策を再検討することにした。

②苦情解決委員会

- ・継続案件については、事務局から定期的に進捗の確認を行い、解決に繋がるように取組んだ。
- ・ワーキング検討会の前に、事前確認フォルダーでの事前確認と意見の記入を行い効果的、効率的な審議を行ってきた、
- ・幅広くご意見をいただくよう活動した結果、年間でいただいたご意見件数は些細なご意見も含め54件（前年度25件）となり、委員会の取組が浸透してきたことが窺えた。

③就労支援委員会

- ・工賃アップの取組として、作業受託に関する見積計算書の有効活用について検討し、活用マニュアルを作成した。
- ・研修委員会との協働で、就労支援に関する研修会を企画し実施した。
- ・各事業所の運営実態に合わせ、利用者給与規程や就業規則等各種規程類の見直し、変更を行った。

④研修委員会

- ・新入職員等の必須研修となっているフォローアップ[®]研修を実施（年間8回：対象者13名）
- ・研修ニーズの洗い出しを行い、8項目に分類のうえそのニーズに沿った円滑な研修の実施に向け、企画・準備・実施・検証までの一連の作業フローチャートを作成中

⑤サービス向上委員会

- ・各事業所から無作為に50名の聞き取り調査を実施。なお、タートルについては事業所視察を実施し確認した。なお、聞き取り調査活動については虐待防止を目的とした活動に特化する必要性から、虐待防止委員会の設立を法人に提案した。
- ・勧誘事例を通し、相模原センター相談員を招き勉強会を実施。
- ・制度の求める地域貢献活動が明らかになり、地域ニーズを探る目的であった「すずらん広場」は取止めとした。ただし、地域交流としてイベント委員会と連携し、SC相模原（プロサッカーチーム）との地域活動と連携した活動を開始した。

⑥余暇支援委員会

- ・委員会メンバーで活動現場を視察し、各活動の課題を把握。それぞれの課題について委員会で検討し改善を図った。
- ・余暇レターを刊行し、活動紹介等とともにルール、マナー等の教示を行い安全な活動の推進に努めた。
- ・例年どおりボランティア交流会を実施し、より良い余暇活動の運営に向けボランティア講師との意見交換を行った。

⑦広報委員会

- ：・今年度のテーマを「福祉の仕事を通じて事業や職員の紹介」とし、魅力ある仕事としてのPRも目的として活動した。
- ・各事業所パンフレットのレイアウト統一化の進捗確認及び法人パンフレットのハードカバーのデザイン見直し検討を開始した。

⑧安全衛生委員会

- ：・制度化（努力義務）されたストレスチェックを健康診断に合わせ実施。実施に向けては、実施要領、手順を作成し周知を図った。
- ・総合防災訓練、グループホーム夜間避難訓練を実施。グループホームの訓練については、非常時体制を整備し、非常時に対応できるシステムを構築していく必要があるため、災害時避難マニュアルの見直しと確実な避難方法を構築していく。

⑨イベント委員会

- ：・恒例のフェスタすずらん2016の当日は、天候にも恵まれ、600人を超える入場者となった。また、ピュアハート作品展を同時期開催し多くの方に鑑賞してもらった。
- ・クリスマスライブには、高校生(姉；障害者)と中学生の姉弟ユニット「サファリパークDuo」に出演いただき好評を得て、心温まる演奏だったとの感想が聞かれた。
- ・サービス向上委員会と連携し、プロサッカーチームSC相模原との地域活動を開始。

2. 事業活動

(1) 法人活動状況

①理事会・評議員会の開催

- 1) 第100回理事会、第62回評議員会 : 平成28年 5月19日 (木)
〔決議事項〕
 - ・平成27年度事業報告・決算(案)について
 - ・不祥事の発生について 他
- 2) 第101回理事会 第63回評議員会 : 平成28年11月24日 (木)
〔決議事項〕
 - ・平成28年度上半期運営状況について
 - ・社会福祉法人制度改革に伴う定款変更について
 - ・評議員選任・解任委員会の設置について 他
- 3) 第102回理事会、第64回評議員会 : 平成29年 3月16日 (木)
〔決議事項〕
 - ・平成29年度事業計画・予算(案)について
 - ・社会福祉法改正について
 - ・評議員候補の推薦提案について
 - ・理事の退任及び後任理事の推薦について 他

②法人事業計画策定、予算編成。事業実施報告取りまとめ、年度決算作業。

③作業等支援

- 1) 福祉・介護職員処遇改善実績報告(27年度分)
- 2) 福祉・介護職員処遇改善加算の申請(29年度分)

④人員措置

- ・29年度新規採用対応(29年度新卒等採用者8名)
- ・業務対応職員の確保(非常勤等職員採用対応)

⑤その他

- ・不祥事発生対応
- ・法人内運用ソフトウェアシステム及びPC等IT環境の維持・メンテ
- ・安全衛生委員会提案の健康診断に合わせたストレスチェックの実施調整(全職員対象)

(2) 事業所別利用状況(相談事業を除く)

	日中活動系									発達支援部門	大和市障害者自立支援センター	ホームすずらん	あいあいS
	ワークショップ・フレンド	ワークショップ・SUN	ワークショップ・SUN横山	グリーンハウス	ワークセンターやまと	すずらんの家	タートル	フィルム	ぼれっと	ぼれっとやまと			
事業所定員	40名	20名	20名	60名	20名	20名	20名	20名	10名	10名	20名	62名	—
最大延利用受入数(人年)	16,008	5,520	5,520	16,560	5,520	5,520	5,520	5,520	5,660	5,000	22,630	4,800	
計画延利用受入数(人年)	11,254	4,788	5,040	15,046	6,220	3,755	3,562	3,312	7,305	3,979	21,492	4,320	
延利用者数(人年)	10,508	4,922	5,315	14,742	6,192	3,664	3,547	2,987	5,959	3,968	20,078	4,027	
対計画利用率	93%	103%	105%	98%	100%	96%	100%	90%	82%	100%	93%	93%	
前年度	101%	116%	120%	99%	101%	100%	101%	77%	81%	116%	93%	97%	

○利用者の就労に伴う後補充が伴わなかったワークショップ・フレンドを始め、前年度と比べ就労系事業所の利用率が総じて下回ったこと、及び通年でホームの空き部屋が生じたこと等が響いて、全体の計画延利用受入数に対する利用率は**96%**に留まった。(前年度**98%**)

(3) 就労支援関連事業

活動方針（共通要旨）

利用者の方々に、地域における社会生活及び就労に向けての基礎となる規律ある生活及び作業習慣を身に付けるため、計画的な生活指導及び作業指導を実施した。

①授産作業実施状況 1 / 4

		ワークショップ・フレンド	ワークショップ・SUN
		就労移行支援 自立訓練（生活訓練）	就労継続支援B
作業実績 【単位：千円】	作業収入	32,450千円	SUN受注額 68,548千円 ・SUN実施額 28,371千円 ・法人内外注額 40,177千円
	<前年比>	<99%>	SUN実施額 <109%>
	目標達成率	107%	110%
授産科目等		施設内<企業からの受注作業> ・スリーエムジャパン(株)ヘルスケアカンパニー : マスク検品・梱包 ・スリーエムジャパン(株) : リール再生 ・(株)トリックス : Tシャツタグ付作業 ・ミノシマ(株) : 工事用電気設備リサイクル 施設外<作業実施企業等> ・トカイパッケージシステム(株) ・ピップ物流 ・敬寿園・スリーエムジャパン(株) ・相模原公園、よしの病院 等	施設内<企業からの受注作業> ・スリーエムジャパン(株)ヘルスケアカンパニー : 工業用マスク、耳栓検査等 ・(株)SO-UP ・HKT(株): 自動車関連部品の梱包 ・自主製品 : デコパージュ石鹸製作販売 施設外<作業実施企業等> ・スリーエムジャパン(株) ・スリーボントファインケミカル(株)
利用者給料支払い状況	年間総支給額	18,855千円	13,515千円
	支給目標	34,000円	55,200円
	月平均支給額 <前年度比>	34,000円 <99%>	56,329円 <102%>
	目標達成率	100%	102%
		・就労者輩出が順調であり、期限満了等による退所者が26名に及んだ影響により、施設外作業に従事する方が充足できない事態が続いた。そのため、売上及び工賃支給が目標値の83%になった。 ・施設内はリール請負の単価見直しやTシャツ作業の売上が前年比112%となり結果的には前年度並みの売上を維持できた。	今年度もスリーエムジャパン社からの耳栓作業を柱に、安定した作業を確保し利用者への安定した作業提供とスキルアップへの支援を行うことができた。また、スリーボントファインケミカル社での施設外作業は常時4名の作業を確保することができた。工賃に関しては、年々向上して支給することができているが、現状維持・継続が精いっぱいになりつつある。

①授産作業実施状況 2 / 4

		ワークショップ・SUN横山	グリーンハウス			
		就労継続支援B	就労継続支援B / 就労移行支援			
			受注班	農園芸班	パン班	施設外班
作業実績	作業収入	SUN横山受注額 22,850千円 ・SUN横山実施額 21,650千円 ・法人内外注額 483千円 ・法人外外注額 717千円	11,927 <78%>	6,627 <93%>	15,213 <90%>	3,522 <77%>
	【単位：千円】 <前年比>	<100%>	37,287 <84%>			
	目標達成率	108%	87%			
授産科目等		施設内<企業からの受注作業> ・スリーエムジャパン(株)ヘルスケアカンパニー ：工業用マスク検査等 ・スリーエムジャパン(株) ：リール検査作業 ・神奈川県企業庁：水道メータ解体 ・(株)ソディック ：樹脂計量・梱包 ・スリーエムヘルスケア(株) ：工業用マスク検査 等 ・HKT(株)：自動車部品梱包 施設外<作業実施企業等> ・スリーエムジャパン(株)	受注班<企業からの受注作業> ・スリーエムヘルスケア(株)：マスク検品・梱包 ・ワキユウセイア：布たたみ 等 農園芸班<自主生産作業> ・野菜生産販売 漬物等生産販売 ・除草作業 ・ホルメテック：フィルム整理 等 パン班<自主生産作業> ・スワンベーカーリーとして生産販売 施設外作業班 ・清水一産業：コマンドタブ ・日本フルハーフ：除草 等			
利用者給料支払い状況	年間総支給額	14,544千円	15,842千円			
	支給目標	53,200円	33,000円			
	月平均支給額 <前年度比>	53,865円 <102%>	32,425円 <101%>			
	目標達成率	101%	98%			
		スリーエムヘルスケア(株)からの受注は、ほぼ安定した収入を得られたが、下期は検査作業において品質管理が大きな課題となった。水道メータの解体作業は、継続して受注し、例年通り市内他法人への発注を実施。独占で作業を確保するのではなく、市内他法人の就労継続支援B型事業所にも作業提供を実施。	受注班の実績不振の要因としては、マスク作業の受注が、後半は盛り返してきたものの、年間では作業量、収入とも前年に比べ大きく減少したことが挙げられる。作業種としては多くを受注したが、マスク作業の収入減の補填には大きく及ばなかった。日本フルハーフの施設外作業は職員と利用者のスキルが、企業が求める内容に伴わず、体制も整わなくなったため、下半期は休止となった。			

①授産作業実施状況 3 / 4

		ワークセンターやまと		すずらんの家
		就労継続支援B / 就労移行支援		就労継続支援B
		施設内	施設外	製菓班
作業実績 【単位：千円】	作業収入	4,324 <135%>	8,912 <93%>	11,783
	<前年比>	13,236 <103%>		
	目標達成率	81%		108%
授産科目等		施設内 <企業からの受注作業> ・日本ホテルパーツ：検品梱包 ・ツルマフーズ：野菜加工 等 施設外 <作業実施企業等> ・ピップ物流 ・ル・リアンふかみ（清掃）		製菓班 <自主生産作業> ・クッキー、ケーキ等製造販売 <受注作業> ・ゴムワッシャー付け他
利用者給料支払い状況	年間総支給額	3,535千円	5,635千円	4,988千円
	支給目標	18,842円	43,666円	28,000円
	月平均支給額 <前年度比>	15,508円 <75%>	52,182円 <110%>	27,715円 <101%>
	目標達成率	82%	119%	99%
		施設内作業収入は、新規授産企業が増えた事や、以前からの取引企業との関係強化により作業量が増えたことで増収になっている。施設外作業収入は、作業者の人数制限などの影響や作業日数が少なかったことで前年より収入が減少している。利用者工賃について、施設内利用者工賃が低下している要因として、出勤日数が少ない、また出勤が不安定な利用者があることでの影響になっている。		夏季特別営業日を全て開所し、LD協会の夏季セミナー対応を行なったことで、前年に比べ20万円の売上増となった。 バザー販売では全体的に売上を上回ることができ、新規で2件のバザー参加を加え年間20件のバザーに参加した。また新規販売先も1件を獲得した。 お客様を飽きさせない限定ギフトや季節商品を定期的に販売したことが全体的な売上増につながった。

①授産作業実施状況 4 / 4

		大和市障害者自立支援センター	
		就労移行支援（授産作業）	
作業実績 【単位：千円】	作業収入	6,800	
	<前年比>	<116%>	
	目標達成率	123%	
授産科目等		<p><企業からの受注作業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アールコーヒー(株) ・山久興産(株) ・(株)D I D ・大協技研工業(株) ・合同会社リベッツ <p style="text-align: right;">等</p>	
利用者給料支払い状況	年間総支給額	3,564千円	
	支給目標	15,000円	
	月平均支給額 <前年度比>	16,593円 <71%>	
	目標達成率	111%	
		<p>就労移行支援事業については、各種プログラム（個別・グループ）や施設外作業を実施し、就労や訓練利用の動機付けを行った結果、就労者数は目標を達成することができた。また、利用率については、下期にかなり低下したが、上期は利用率が高かったため、年間を通しては、目標利用率を達成することができた。</p>	

②就労支援状況

事業所名	就労者数	就 労 先	就労者数	事業所名	就労者数	就 労 先	就労者数
ワークショップ・フレンド	6名	(株)トラステックウイズ	20名 (21名)	大和市障害者自立支援センター	1名	(社福)睦愛会	7名 (10名)
	1名	さがみ物流サービス(株)			1名	日本郵政(株)	
	3名	ミヨシ・ロジスティック(株)			1名	(株)ヒップ	
	1名	(株)スリーホント			1名	(医療)三成会	
	1名	(株)アサヒセキュリティー			1名	SFPダイニング(株)	
	1名	(株)昭和メディカルサイエンス			1名	モンテローザ(株)	
	1名	(有)ダンボール			1名	ニッコー(株)	
	1名	東京トヨペット(株)					
	1名	相愛病院					
	1名	(株)オガワ					
	1名	(株)ウェルハーツ小田急					
	1名	日本フルーフ(株)					
	1名	(株)ケーユー					
グリーンス	1名	(株)トラステックウイズ	2名 (3名)	横山SUN	1名	(株)トラステックウイズ	1名 (-名)
	1名	すずらの会					
やまとワークセンター	1名	(株)三凌商事	5名 (2名)	んすずらの家			— (-名)
	1名	(株)ニチエネ					
	1名	多摩丘陵病院					
	1名	山村ロジスティック(株)					
	1名	クワイエットL&S					
<p>平成28年度就労実績 (就労移行支援、就労継続支援B)</p> <p>法人合計 : 35名 [前年度比 : 97%]</p> <p>(36名) [(—)] ()内 : 27年度実績</p>							

○就労実績に対する考察

- ・これまで定着支援に関わりのあった企業からの求人が多く、就労の機会が広がった。定着支援による企業からの信頼が得られた結果と思われる。
- ・やむを得ず離職をした方の再就職がスムーズに進められた。
- ・ワークショップ・フレンドの場合、利用から1.5年から2年程度で就労に結びつくケースが多い。

(4) 生活介護事業

活動方針（共通要旨）

利用者の方々に、地域における社会生活に向けての基礎となる規律ある生活習慣を身に付けるため、計画的な生活指導及び作業指導を実施した。

- ①実施事業所 ・グリーンハウス [定員：20名]
 ・タートル [定員：20名]
 ・フィルイン [定員：20名]

②活動状況

1) グリーンハウス

- 生活介護事業のプログラムを充実させるため、次年度に向けて試行的にヨガのプログラムを実施した。また活動班への人員を増員し、個々の相談や支援に対応できる仕組み作りを実施した。

2) タートル

- 他事業所を通して開拓した作業種（小林紙工、ソーアップ、常盤産業等）に取り組んだが、上期は予定の作業量が入らなかった為、収入は赤字になる事が多かった。年末からSUNを通して単発の作業種に取り組んだ結果、授産収入は目標を達成した。
- 四季をモチーフにした壁掛け作りや、クリスマス前にスノードーム作りを行う等、季節に合わせた創作活動に取り組んで充実を図った。

3) フィルイン

- 開所して以来、通所できなかった利用者が、相談支援事業所の職員が代わった事をきっかけに、毎日通所する事が出来る様になった。
- 午後の活動に利用者が興味を抱く内容を提供し、明確な通所への動機付けを行なった。中でも、美術の時間等、頻繁に行う事が難しかったものの、参加利用者が多く、充実した時間を過ごす事が出来た。

③授産活動

	授産科目等	作業実績	記事
グリーンハウス	生活介護事業における利用ニーズの高まりに対し、安定した作業確保（ゴムワッシャー、防虫剤、布作業、情報誌の配布等）に努めた。	4,411,310円	28年度4月から20名定員に変更
タートル	・授産作業を通じた規則やマナーの習得への取り組み プラスチック段ボール、製菓資材梱包等作業種を増やしたことで、取り組める作業が広がった利用者がある。	1,436,570円	目標達成率 134%
フィルイン	法人内事業所より受注作業及び発送作業の請負 ・ワークショップ・SUNより耳栓箱入れ ・整列版作業（サヘサイト） ・イベント委員会、フルー70B会、広報委員会の郵便物発送作業	1,809,370円	目標達成率 112%

④利用者給料支払い状況

	グリーンハウス	タートル	フィルイン
年間総支給額（円）	4,411,310円	840,830円	1,614,950円
支給目標	16,500円	6,052円	12,000円
給料月平均支給額（円）	17,618円	5,605円	9,320円
目標達成率	107%	93%	78%

(5) 相談支援事業

活動目的

障害サービスを利用する障害者若しくは障害児、地域相談支援を利用する障害者又は利用者の保護者に対し、適正な計画相談支援、児童相談支援や地域定着・地域移行支援を提供することを目的とする。

- ①実施事業所
- ・相談支援センター・フレンド
 - ・グリーン・コスセンター
 - ・大和市障害者自立支援センター
 - ・特定相談支援（計画相談支援）
 - ・児童相談支援
 - ・特定相談支援（計画相談支援）
 - ・一般相談支援（地域定着・地域移行）
 - ・特定相談支援（計画相談支援）
 - ・児童相談支援

②活動状況

相談支援センター・フレンド	<p>1)平成29年1月から相談支援専門員を1名増員し4名体制（全員兼務）で対応している。引継ぎ等円滑に行えるよう情報共有を行い、利用者との関係作りにも努めた。</p> <p>2)児童相談では進路相談に対応することが多くなってきた。法人内のぱれっと利用者を対象としていることから、個々を理解した上での支援が可能となっている。</p> <p>3)特定相談では、他機関との連携により地域資源の活用に結び付けることができ、家族を含めた支援が可能となった。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業種</th> <th rowspan="2">対象</th> <th colspan="3">契約者数</th> </tr> <tr> <th>継続</th> <th>新規</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">特定相談</td> <td>障害者①</td> <td>65</td> <td>19</td> <td>84</td> </tr> <tr> <td>障害児②</td> <td>23</td> <td>1</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>障害児相談</td> <td>障害児③</td> <td>70</td> <td>3</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>158</td> <td>23</td> <td>181</td> </tr> </tbody> </table>				事業種	対象	契約者数			継続	新規	合計	特定相談	障害者①	65	19	84	障害児②	23	1	24	障害児相談	障害児③	70	3	73	合計		158	23	181									
		事業種	対象	契約者数																																					
継続	新規			合計																																					
特定相談	障害者①	65	19	84																																					
	障害児②	23	1	24																																					
障害児相談	障害児③	70	3	73																																					
合計		158	23	181																																					
グリーン・コスセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・対応する相談者の年齢が上がり、ライフステージが変わることで介護保険への移行や生活の場のニーズが増えてきている。また、自立した地域生活を求めるニーズに対応するための資源（サテライト型を含むグループホーム等）が乏しく、苦慮している。 ・専任の相談支援専門員の配置により、相談者の状況やニーズに応じた訪問対応の実施、キーパーソンがいない困難ケースの他機関との連絡調整及び連携等、より丁寧な対応が図れた。 	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業種</th> <th rowspan="2">対象</th> <th colspan="3">契約者数</th> </tr> <tr> <th>継続</th> <th>新規</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">特定相談</td> <td>障害者</td> <td>107</td> <td>34</td> <td>141</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>—</td> <td>107</td> <td>34</td> <td>141</td> </tr> </tbody> </table>				事業種	対象	契約者数			継続	新規	合計	特定相談	障害者	107	34	141					合計	—	107	34	141														
事業種	対象	契約者数																																							
		継続	新規	合計																																					
特定相談	障害者	107	34	141																																					
合計	—	107	34	141																																					
自立支援センター	<p>支給決定の計画相談数</p> <p>活動状況については、（9）大和市障害者自立支援センターの活動状況を参照</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">事業種</th> <th rowspan="2">対象</th> <th colspan="3">契約者数</th> </tr> <tr> <th>継続</th> <th>新規</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">一般相談</td> <td>障害者①</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>障害児②</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">特定相談</td> <td>障害者③</td> <td>87</td> <td>329</td> <td>416</td> </tr> <tr> <td>障害児④</td> <td>5</td> <td>69</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td>障害児相談</td> <td>障害児⑤</td> <td>118</td> <td>21</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>—</td> <td>210</td> <td>419</td> <td>629</td> </tr> </tbody> </table>				事業種	対象	契約者数			継続	新規	合計	一般相談	障害者①	0	0	0	障害児②	0	0	0	特定相談	障害者③	87	329	416	障害児④	5	69	74	障害児相談	障害児⑤	118	21	139	合計	—	210	419	629
事業種	対象	契約者数																																							
		継続	新規	合計																																					
一般相談	障害者①	0	0	0																																					
	障害児②	0	0	0																																					
特定相談	障害者③	87	329	416																																					
	障害児④	5	69	74																																					
障害児相談	障害児⑤	118	21	139																																					
合計	—	210	419	629																																					

(6) 共同生活援助（グループホーム）事業

活動目的

知的障害者が社会の一員として、地域の中で自立した生活ができるよう援助することを目的として活動を展開した。

①ホーム毎利用状況

		定員		入居状況 (H29.3末)	異動状況	記事
		男性	女性			
ホーム すずらん	リリーハイム	3	3	6名	6名	退去0名、入居0名
	ワイビレッジ	7		7名	7名	退去0名、入居0名
	ワイビレッジ2	3	3	6名	6名	退去0名、入居0名
	パークハウス	6		6名	6名	退去0名、入居0名
	なるみハイツ		6	6名	5名	退去1名、入居0名
	さんとらっぷ		5	5名	5名	退去1名、入居1名
	まーぶる		7	7名	7名	退去0名、入居0名
	マリージュ	3	3	6名	6名	退去0名、入居0名
	ローズハイム	7		7名	6名	退去1名、入居0名
	みらい	3	3	6名	6名	退去1名、入居1名
合計		19	30	62名	60名	
		13 (区別無)				

②支援体制

- ・世話人の勤務時間を必要に応じて変更し、日中活動事業所とタイムリーに連絡を取り合うことができた。
- ・内部研修や事例検討を世話人会議内で開催し、職員の資質向上を図った。
- ・女性利用者2名が結婚のため退去することになり、必要な支援を行った。

③生活状況

- ・年5回の合同行事を行い、バイキング、バス旅行、防災センター見学等の企画を立案し、ホーム全体の親睦を図った。
- ・他事業所職員の勤務協力を得たり、自主事業を活用して細かい生活支援を実現することができた。

④その他

- ・男性職員の退職があり、同性介助に支障をきたすことがあった。

(7) 発達支援部門<児童発達支援、放課後等デイサービス>

活動目的

障害者またその家族等が持つ、解決できない不安や悩みに対する種々の相談を受け、必要かつ適切な助言や指導を行うことにより障害者が自立した日常生活を営むことができるよう支援を行う。

①実施事業所

- ・ぱれっと [定員10名]
- ・ぱれっとやまと [定員10名]

②活動状況

<運営状況>

- ・今年度4月から、これまで1ヶ月先までだったところを、2ヶ月先までの予約がとれるように変更した。これにより、来所時に予約がとれるようになり、利用者にとっては、1ヶ月前を待って電話で予約をとる手間がなくなった。キャンセル率の低下にもつながっているが、お忘れや他事業所との同日利用の防止が課題として残っている。
- ・研修参加については、専門研修のみならず、制度や虐待防止など幅広いテーマの研修に参加した。特に、虐待防止の研修は、複数の職員で受講した。
- ・両事業所において新規利用者の受け入れを実施した。契約後は、担当以外の職員と情報共有し、複数名でお子さんやご家族の様子を把握するよう努めた。また、来年度に向けて、利用率向上を目的として、新規利用者の受付方法の変更、児童発達支援の利用推奨時間帯の変更などを行った。

<今後への課題>

- ・利用率向上、安定を目指す。インテークの流れの変更、未就学児の利用時間の変更
- ・事業所内ケース会議の改善。時間の確保、質の向上。

③活動実績

	年間延べ利用件数	収入状況		
	28年度実績	28年度目標	実績	達成率
児童発達支援 放課後等デイサービス	5,959 〔前年度比 105%〕	78,650千円	72,320 千円 〔前年度比 120%〕	92%

(8) 老人居宅介護事業、訪問系障害福祉サービス事業 (あいあいS)

活動目的

介護を必要とする高齢者、知的障害児者等に対し、その居宅生活において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、利用者の置かれている環境を勘案しつつ、食事その他生活全般にわたる支援を行う。

①活動状況

		作業内容等	活動状況
介護 保険 事業	居宅介護支援 (ケアマネジメント)	ケアプラン作成等	<ul style="list-style-type: none"> ・医療職を交えた事例検討会参加の継続で、疾病についての理解を深める事に努めた。 ・地域の未来の福祉を考える会に参加し、交流と情報収集に努めた。 ・新規登録者 居宅介護支援： 5名 訪問介護： 4名
	高齢者訪問介護 (老人居宅介護等事業)	ホームヘルパー派遣 ・身体介護 ・生活援助 等	
総合 支援 法 事業	障害福祉サービス事業 ・居宅介護 ・重度訪問介護 ・同行援護	ホームヘルパー派遣 ・身体介護 ・日常生活支援 ・視覚障害者同行援護 等	<ul style="list-style-type: none"> ・法人職員より紹介を受け4名のガイヘルを確保した。 ・無資格者に対し、補助を出し資格取得と活動に繋いだ。 ・利用者の変化について細かな情報提供を心がけ働きやすい環境作りに努めた。 ・事例を通し活動時の対応策について提案や情報を共有した。 ・新規登録者 移動支援： 1名
	移動支援事業	ガイドヘルパー派遣	
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・制度内では対応できないこと等は、自費事業として対応し、より具体的なアセスメントとニーズに対応できた。 	

②活動実績

H28年度売上目標	H28年度実績		達成率
34,862千円 〔前年度比：100%〕	介護保険事業：8,751千円 〔前年度比：95%〕	34,277千円 〔前年度比：98%〕	98%
	支援費関連事業：25,526千円 〔前年度比：99%〕		

(9) 大和市障害者自立支援センター（大和市指定管理者受託事業）

基本方針

大和市障害者自立支援センター条例で定める指定管理者として大和市と緊密な連携のもと、障害を有する者一人ひとりが個人として尊重され、その有する能力及び適正に応じ、地域での日常生活または社会生活を営むことができるよう、自らの意思と責任に基いた自己決定と社会参加の支援を図る。

1) 相談支援事業

①相談件数

	年間継続相談件数	新規相談件数	
障害児	139名	21名	(目標：90名)
知的障害者	1,450名	20名	
身体障害者	344名	13名	140名
精神障害者	2,014名	70名	
その他	189名	16名	[目標達成率155%]
支給決定経過措置対応計画相談		490名	

②就労件数

年間就労者数	フォローアップ	
(目標：25名)	身体	1名 1社
19名	知的	8名 8社
	精神	10名 10社
[目標達成率76%]		19名 19社

2) 就労移行支援事業

①利用状況 【定員】：20名

最大延利用受人可能数 (人年)	計画延利用受入数 (人年)	延利用者数 (人年)	対計画利用率
4,980人	3,979人	3,968人	100%

②授産活動

授産科目等	作業実績	平均支払工賃	就労移行支援	就労実績
<企業からの受注作業> ・光文図書㈱ ・アールコーヒー㈱ ・㈱マイプレシャス ・大協技研工業㈱ 等	680万円	16,593円	(社福)睦愛会 1名 日本郵政㈱ 1名 ㈱ヒップ 1名 (医療)三成会 1名 SFPダイニング㈱ 1名 モンテローザ㈱ 1名 ニッコー㈱ 1名	7名 ※

※：法人年間就労者数に含む

3) 基幹相談センター業務の受託

平成25年度より、指定管理とは別委託で、基幹相談センター業務の受託を開始した。主な業務は、支援困難ケースへの相談支援、市内相談支援事業所の支援力向上に向けたスーパーバイズや研修企画・実施等となっている。また、基幹相談センター機能には、障害者虐待防止センター機能も含まれており、24時間365日体制での通報受理及び被虐待者や加害者への支援が主な業務となっている。平成28年度の対応状況としては、7件の虐待通報に対応した。

4) 地域交流事業

①イベント開催

内 容	開催月	参加者数	内 容	開催月	参加者数
お花見	H28年4月	18名	BBQ	H28年 9月	20名
カフェライブ	H28年5月	354名	カフェライブ	H28年11月	47名
プロ野球観戦	H28年4月	10名	プラネタリウム	H28年12月	8名
写真撮影	H28年6月	10名	新年会	H29年 1月	16名
夏休み企画（児童対象）	H28年7月	15名	スイーツ作り	H29年 2月	13名
夏休み企画（児童対象）	H28年8月	64名	調理体験	H29年 3月	7名

②交流空間貸出

・英語教室様	年間 16回・・・	32名
・大和まちづくりの会様	年間 9回・・・	119名
・ハートフルプランを読む会様	年間 10回・・・	50名
・やまねっと様	年間 9回・・・	27名
・その他団体様	年間 3回・・・	9名

③喫茶コーナーの運営状況

- ・喫茶コーナー“Café ふらっと”は、自立支援センター利用者及び地域の皆様の利用、また、イベント開催時の売上等で、190円（目標比95%）の年間売り上げであった。
- ・Caféふらっとの機能を活用し、市内福祉施設利用者を対象に接客体験プログラムを実施、延べ42名参加

5) 地域連携活動

①大和市障害者自立支援協議会事務局を主管

・自立支援協議会 定例会	3回
・自立支援協議会 精神部会	11回
・自立支援協議会 自立生活支援部会	11回
・自立支援協議会 児童部会	11回
・自立支援協議会 身障部会	12回
・自立支援協議会 事務局会議	6回

②その他

○障がい者週間事業（平成28年12月19日（月）、20日（火））

イオンモール大和にて、障がい福祉に関する啓発事業として、啓発物品の配布及びイオンシネマつきみ野での映画（みんなの学校）上映及びインクルーシブ教育の関連シンポジウム（平成28年11月26日（土））

○サービス管理責任者会議：大和市内サービス提供事業所の連携強化及び支援員の資質向上のための学習会を実施